

姉妹交流ライブラリー

姉妹自治体になりませんか？

(財)自治体国際化協会交流協力部交流親善課

当協会では、地方自治体の姉妹提携・姉妹交流を促進するため、姉妹提携先の情報の提供、相談を行っている。海外の自治体から日本の自治体との交流希望が寄せられた場合には、その都度、このコーナーで紹介していく予定である。また、このほかにも海外の交流希望自治体を当協会のホームページで紹介しているので、ご覧いただきたい。(なお、国の紹介は外務省のホームページを参考にしたものである。)

ロシア連邦

マガダン市 (人口二万人)

ロシア連邦

(人口一億四四〇〇万人 公用語：ロシア語)

民族は、ロシア人など一〇〇以上の民族から構成されている。国土面積世界第一位を誇るロシア連邦は、東西約九〇〇〇km、南北最大幅約四〇〇〇kmにわたり、北は北極海、

南は中国、モンゴルなどアジアの国に接している。ロシア諸国の起源は、九世紀、ノルマンの首長リューリックがノヴゴロド公国を建てたことに始まる。一二世紀の蒙古の支配を経た後、モスクワ公国、ロマノフ朝ロシア帝国と支配者の交替を経て、一九一七年革命によりレーニン率いるボリシェヴィキがソヴィエト政権樹立。一九九一年の「ソ連」解体を迎え、従来の社会主義体制から市場経済体制へ移行した。二〇〇〇年五月からプーチン大統領が率いる。同大統領は民主化と市場

経済化の路線をさらに推し進めている。

二〇〇三年は、ロシアの古都サンクトペテルブルグの建都三〇〇年に当たり、「ロシアにおける日本文化フェスティバル2003」として、ロシア国内において日本の伝統や文化を紹介するさまざまな行事が実施されている。日本とは近いため、古くからかわりがあり、二〇〇三年六月現在、姉妹提携件数は四〇件に上る。うち一八件を北海道内の自治体が占め、そのほか日本海側の自治体との提携が多い。

マガダン市

ロシア北東部、オホーツク海沿岸に位置しており、マガダン州の行政・教育・文化・商業・経済の中心地である。沿岸部の都市で



あるため港湾が発達し、豊かな天然資源開発事業とともに発展してきた。市内から五〇kmの距離にはマガン国際空港があり、ロシア国内線（モスクワ、ハバロフスク、ウラジオストクほか三都市）や国際線（アンカレッジ）が就航している。なお、マガン市は既にアンカレッジ（アメリカ合衆国）と姉妹提携している。

主な研究機関は、北東総合研究所、ロシア教育アカデミー北東科学センター、金・希金属研究所と極東農業地域研究所の最先研究室がある。また、マガン市に北方フォーラム諸国の大学・カレッジ協会の本部が設置されており、北方国際大学では高度な技術を持つ専門家養成教育が行われている。このほか、市内に音楽学校、医科専門学校をはじめ、六つの専門学校がある。

一九九六年、エルネスト・ネイズベストヌイという彫刻家によって、市内に大きな記念碑「悲嘆の仮面」が作られた。これは、一九三〇年代から一九五〇年代の政治的弾圧の犠牲者のために建立されたものである。

また、ロシアポピュラー音楽の創始者の一人であるバージム・コジンの旧居が博物館として整備されており、このほか二つの劇場、文化センター、文化会館がある。

マガン市は全面的な交流の発展、ビジネスや文化関係の樹立と拡大のために、日本の自治体との友好関係樹立に関心を持っている。

アメリカ合衆国 フルトン市（人口二万二〇〇〇人）

アメリカ合衆国
（人口三億八二四万人 言語：主として英語）

一七七六年に独立宣言、一七八三年に英国が独立を承認した。その後一七八七年に合衆国憲法が制定された。国土面積は日本の約二五倍の大きさである。

日本とアメリカ合衆国との交流は、一八五三年にペリー提督率いる黒船が浦賀に来航し、翌一八五四年に日米和親条約が締結されたときから本格的に始まった。日米両国は、現在に至るまで、さまざまな試練を乗り越えて政治・経済・文化等のあらゆる分野で交流を深め、今日の良好な友好協力関係を築いてきた。なお、本年二〇〇三年及



び明年二〇〇四年は日米交流一五〇周年に当たり、両国においてさまざまな分野での交流事業が実施、予定されている。

日本で初めての姉妹提携は、一九五五年の長崎市とセントポール市との平和を祈念しての提携であり、それ以降、アメリカ合衆国の自治体との提携件数は増加。二〇〇三年六月現在、姉妹提携件数は四三五件に上り、相手国別で見ると最も多い。

フルトン市

ミズーリ州のセントルイス市とカンザスシティ市の間に位置する。セントルイス国際空港から一六〇km、カンザスシティ国際空港から二二〇kmの距離にある。市の周りには緩やかな丘や小川があり、のどかで自然に恵まれているため農業が盛んである。一九四六年に当時の英国首相のウィンストン・チャーチルが「鉄のカーテン演説」を行った都市として有名である。

年間平均気温は一一・三度、最も暑い七月の平均気温は二五・九度、最も寒い一月の平均気温はマイナス〇・二度である。年間平均降雪量は五五cm程度。

豊かな歴史と文化に育まれた都市で、ウエストミンスター大学、ウィリアムズ大学や図書館がある。また、ウィンストン・チャーチル博物館がある。

人口等が同規模の日本の自治体と姉妹交流を希望している。

国際協力情報ファイル

「市民国際プラザ」

のご案内

(財)自治体国際化協会交流協力部協力課

自治体とNGOの連携

「市民国際プラザ」は、自治体と国際協力に携わる市民団体(以下、NGO)が連携し、地域の特色を生かした国際協力が推進されることを目的に平成一一年七月に開設された。

自治体や地域国際化協会などが国際協力に取り組むためには、地元住民の理解のもとで、相手方の情勢やニーズを的確に把握した上で、継続的かつ効果的に協力活動を実施していくことが重要である。

近年、自治体においても独自のノウハウを生かし、農業、環境、教育など、多様な国際協力を推進している。また、NGOは、精力的に協力活動を展開し、その活動に対する評価が高まっており、自治体とNGOが連携して国際協力を実施することで、より効

果的で充実した内容となり、継続性のある国際協力の実現が可能となる。

「市民国際プラザ」は開設当初より、(財)自治体国際化協会と特定非営利活動法人国際協力NGOセンター(JANIC)が共同で運営を行っており、次のような活動を通して国際協力を行う自治体とNGOの連携をバックアップしている。

自治体やNGOが行っている国際協力に関する情報の収集・提供

自治体や地域国際化協会、NGOが実施している国際協力に関するさまざまな情報を収集し、「市民国際プラザ」を訪問された方が自由に閲覧できるように配架している。また、電話やEメールなどによる各種の問い合わせ、情報提供の依頼にも対応している。



↑国際理解教育教材



↑プラザ外観

そのほか、(財)自治体国際化協会のホームページに「国際協力情報掲示板」を設置し、国



↑会議室としての利用風景



↑写真展開催風景

国際協力に関する情報を誰でも自由に掲載・検索できるようにするとともに、「自治体国際協力ネットワーク」のページでは、自治体による多彩な国際協力事例を紹介している。

国際協力を担う人材の育成

昨年度より、国際協力を担う人材を育成するため、自治体や地域国際化協会の職員をはじめ、国際協力に関心のある方などを対象に、国際協力リレーフォーラムを開催している。このフォーラムは、自治体の国際協力の意義、現状と課題、NGOとの連携のあり方などをテーマに開催する予定である。

国際協力に関する ノウハウの提供

国際協力に詳しいNGO関係者、学識経験者、自治体関係者などをアドバイザーとして登録し、自治体などの要請に応じて派遣する「自治体国際協力アドバイザー」制度により、国際協力に関するノウハウを提供している。

国際協力のPR

自治体の国際協力に関するパネルを作成し、「市民国際プラザ」内に展示して自治体の国際協力事例を紹介している。これらのパネルについては、貸出しも行っている。また、「国際協力フェスティバル」など国際協力

に関するさまざまなイベントに参加し、これらのパネル展示や関連資料の紹介などを通じて、自治体の国際協力を幅広くPRするものである。

その他

「市民国際プラザ」は、国際協力に関する会議、打合せの場として利用が可能である（利用可能人数は一五名程度）。また、市民国際プラザで独自に作成した国際理解教育教材（フォトランゲージ）「ようこそ地球村へ」の貸出しや、国際協力に関する写真などの展示スペースの提供も行っている。これらのご利用に当たっては、事前にお問い合わせ、ご相談いただきたい。

連絡先

常駐スタッフ（一名はJANICから派遣）
がお待ちしておりますので、お気軽にお立ち寄りください。ご質問・ご相談も随時受け付けております。

住所：〒100-0013

東京都千代田区霞が関3-3-2

新霞が関ビルLB（ロビー）階

TEL：03-3519-7581

FAX：03-3519-7597

開所時間：10時～18時

休業日：土・日曜日、祝日

八月一日～一六日

十二月二日～一月三日

クレアホームページ（国際協力情報掲示板）

<http://www.clair.or.jp>

E-mail: plaza-clair@nifty.com